

3. 大切にしたい考え方

①地域にあるいろいろなヒト・モノ・コトを見直し、その魅力を活かします

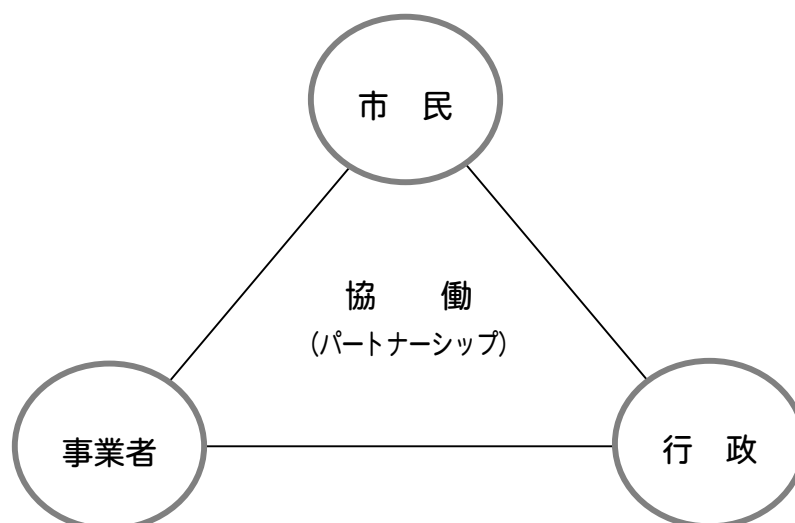
対象地域には、自然や、農業、食文化、歴史、景観、生活文化、人材など有形・無形のかげがえのない資源がたくさんあります。まだ発見されていない資源もたくさんあることでしょう。これらの地域資源の魅力を再発見し、磨きをかけ、まちづくりに活用していきます。また、活用にあたっては、地域資源の現状を科学的に調査・評価するよう努めます。

②市民・事業者・行政の協働（パートナーシップ）を基本に、さまざまな立場の人びとがいっしょに話し合い、価値を共有しながら進めます

市民、地域住民、市民団体、事業者、専門家、行政などの立場によって、また人によって考えや思いは異なります。さらに、趣味や特技、関心、知識、知恵なども人それぞれです。構想の推進にあたっては、市民・事業者・行政の協働（パートナーシップ）を基本に、こうした多様な人びとが参加し、十分に議論し、考え方や進め方、地域資源の価値などを共有しながら取り組みます。

③暮らしの中で楽しみながら進めます

自然と文化の森構想は、普通の暮らしとかけ離れたものではありません。住まいや職場、学校で、普通の遊びや仕事、勉強や買い物、家事など、暮らしの中で「地域」に対してできることを積み重ね、楽しみながら進めるものです。実は、こうした取組は、既に様々な団体や市民の手によって行われています。それらを尊重し、連携しながら進めるとともに、新しい取組を恐れずに企画・実施します。そして、内外に情報発信して広めていきます。





市民による里芋づくり



猪名川と藻川



お祭り（里芋収穫祭）



田能遺跡（田能資料館）



田能の農地



猪名川自然林



まちの魅力を再発見するワークショップ



東園田町の住宅



猪名川自然林の調査・学習